

# のびのび通信

令和3年6月30日  
秋田大学教育文化学部附属小学校「いじめ防止対策委員会」発行

## いじめ防止に関する取組について

6月はオンラインでの公開研究会があり、どの学級でも目を輝かせ、やる気に満ちた授業を展開し、全国から参観された皆さんに生き生きと学び合う姿を見ていただくことができました。

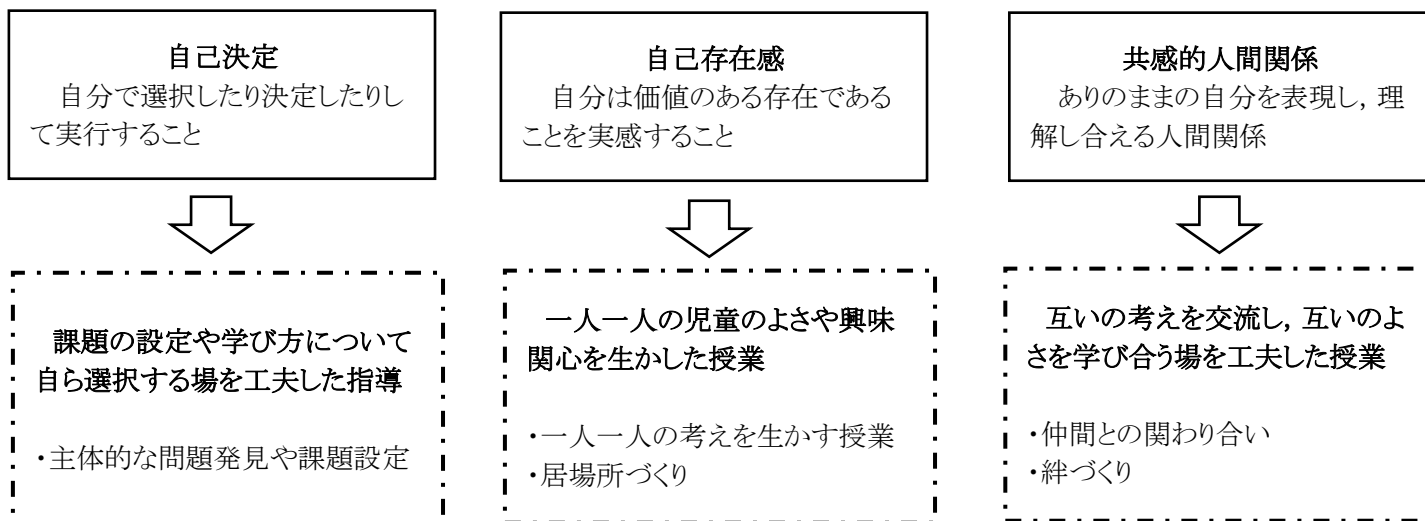
それと同時に、いじめ防止対策強化月間として、各学級でいじめのない学校を目指し取り組みを行ってきました。

### 本校におけるいじめ防止に関する取組 「秋田大学教育文化学部附属小学校 いじめ防止基本方針」より

- ① 児童の豊かな情操と道徳心を培い、心の通う人間関係を構築する能力の素地を養うことを目指して、全ての教育活動を通じた道徳教育及び特別活動の充実に努める。
- ② 自己指導能力の向上がいじめの防止に資すると考え、生徒指導の3つの留意することとされている「自己決定」「自己存在感」「共感的人間関係」の要素を盛り込んだ授業実践を推進する。
- ③ いじめを防止することの重要性に関する職員の理解を深めるために、いじめ防止に関する校内研修を実施する。
- ④ いじめを防止することの重要性に関する保護者の理解を深めるため、いじめ防止に関する本校の方針をPTAで紹介したり、学校報で伝えたりする。
- ⑤ 児童及びその保護者が、インターネットを通じて行われるいじめを防止することができるように、情報モラルに関する児童への指導や保護者への啓発を行う。
- ⑥ 学校職員の言動が、児童を傷付けたり、他の児童によるいじめを助長したりしないよう、日々の指導の在り方に細心の注意を払う。

その他、いじめの早期発見のための取組として、全児童を対象とした「学校生活アンケート調査」を年に2回（6月・11月）実施し、子どもたちやクラスの実態把握を行います。アンケートを実施した後、全ての児童と担任が改めて学校生活の中での様子を対話して確認していきます。また、アンケートを実施する6月・11月を「いじめ防止対策強調月間」として、各教科等の学習内容や学級活動などいじめ防止と関連させた取組を重点的に行っています。

#### \* 生徒指導の3つの留意する点



## いじめ防止対策強化月間での具体的な取組

各学年・学級でいじめ防止に向けて具体的な取組が行われましたので、いくつか紹介いたします。

### 【各教科】

- 1年生：生活科の「きれいにさいてね」の学習で、アサガオをじっくり観察し、その気持ちを考え、大きく成長するために必要なお世話（水やり・日なたへの引っ越しなど）をした。
- 2年生：生活科の「なかよくなろう～学校探検～」の学習で、1年生の行きたい場所を聞いたり、1年生の気付きをメモしてあげたりと1年生の気持ちを考えながら活動した。
- 3年生：理科の「モンシロチョウを育てよう」の学習で、小さな命を大切に、責任をもって育てることと成長の喜びにふれた。
- 4年生：国語科の「思いやりのデザイン」の学習で、対象者が誰であるかを考えて表現することの意味を知り、相手意識をもつことの大切さを学んだ。
- 5年生：国語科の「きいて、きいて、きいてみよう～他己紹介～」の学習で、友達のよさに目を向けてインタビューをし、がんばりを紹介するなど互いに認め合う意識を高めることができた。
- 6年生：国語科の「伝え合おう私の意見」の学習では、相手の意見を受け入れた上で、自分の考えを伝えることのよさに気付いた。

### 【道徳】

- 1年生：「こころのはっぱ」の題材を通して、「友達の気持ちを考えてあげることが大切」と気付き、もし困っている友達を見つけたら、助けたいという思いをもった。
- 2年生：「ともだちやもんな、ぼくら」の題材を通して、友達との助け合いの大切さについて考えた。
- 3年生：「しょうたの手紙」の題材を通して、みんなが協力し合っていじめのない明るく楽しい学級をつくるために、一人一人ができることを話し合った。
- 4年生：「また来年待ってるよ」の題材を通して、自然の厳しさを考える中で、生きていくことの尊さに気付くことができた。
- 5年生：「どうする鍵」の題材を通して、誠実に生きることを考えながら、周囲への思いやりの大切さに気付き、日々の生活に生かそうとする気持ちが芽生えてきた。
- 6年生：「命の重さはみな同じ」の題材を通して、生命の尊さについて考えを出し合った。

### 【学級活動】

- 1年生：初めての係ポスターづくりを通して、仲間意識を高め、友達と協力することができた。
- 2年生：係活動を行う中で、みんなを楽ませるための工夫をしたり、積極的にその活動に参加したりするなど、相手を考えた行動をとることができた。
- 3年生：よりみんなが気持ちよく生活するためにはどのように係や当番活動を行ったらよいか問題点を見出し、その解決策について話し合った。
- 4年生：転入生が早くクラスに馴染み、クラスの友情の輪を広げることができるよう、転入生の歓迎パーティを自分たちで企画・運営した。
- 5年生：係のメンバー全員で、クラスみんなが笑顔になれる活動を考え、協力して取り組んだ。
- 6年生：修学旅行へ向け、旅行中のマナーや集団行動の在り方について、話合った。宿泊の部屋割りするメンバー決めも折り合いをつけて決定した。

## **附属小のきらり！**

- ・1年生が下校中に歩道に落ちていたハンカチを拾いました。少し遠回りになっても、そのハンカチを交番へ届けてくれました。落として困っている人のことを考えた優しい姿がきらり☆